

2021年3月定例会 一般質問 掛布まち子

(質問時間が不足し、実際に発言した文言と多少違いがある可能性があります。時間の関係で、答弁はありません)

資源ごみを出しやすく

まったなしで進行する超高齢化と現役世代の多様な生活形態に即した、市民にやさしい資源ごみの排出制度への転換を求めて質問します。

① 江南市は2019年3月に策定した「エコシティ江南行動計画」で、**高齢者の資源ごみ排出困難世帯への戸別収集**を2021年度以降に実施していくと打ち出しており、1年前の3月議会では2021年度からの特別交付税措置も財源に活用し実施していくという明確な答弁があり、大いに期待をしていましたが、残念ながら一向に実施予定が示されません。

エコシティ行動計画では、必要な追加コストとして、305万円と見込んでいます。個別収集しながら、高齢者世帯へ声かけして安否確認をする計画で、非常に喜ばれる取り組みになると期待していました。潤沢に交付されたコロナ対応地方創生臨時交付金で普段できなかったさまざまな事業が可能になり一般財源の節約ができ、コロナ禍なのに財政調整基金の積み立てを増やしている財政状況のもとで、わずか305万円ほどが捻出できないはずがないではありませんか。

② もう1点、いろいろな議員からも要望が出ていた、**常設リサイクルセンターの増設**。市の南部など他地域にも必要です。この増設も一向に示されない。

資源ごみを出しやすくする改善は、止まったままで進んでいないことが、非常に不満です。なぜ、増やせないのでしょうか。

③ さらに3点目、東こう議員がよく取り上げておられました、**地域の資源ごみ回収拠点での平日早朝の立ち当番制度の改善**について。

住民の高齢化、現役世代の勤務形態の多様化のため、たち当番制度を担う区・町内会の中で、様々なトラブルが発生しています。

住民の負担が大きな立ち当番制度を縮小していけるように、市民にやさしい資源ごみ排出制度へ一步一步見直しを進めるべきだが、どうするのか。例えば、日曜日に公共施設の駐車場を利用した簡易な容器包装プラスチック、廃プラスチックに限定した資源ごみステーションの開設などはできないのか。